

令和2年7月21日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

今後のオンライン授業を見据えて 旭小学校の児童が遠隔会議システムを体験しました

市ではこれまでも非認知能力向上のために「ICT教育」に力を入れてきましたが、今後予想される新型コロナウイルス感染症の第二波、第三波により学校が再び休業となった時を見据え、ICT教育のモデル事業に取り組んできた旭小学校で、3年生と5年生の児童が「遠隔会議システム」を体験しました。

Microsoft Teams を使って、3年生は「音声を使った健康観察の体験」を、5年生は「チャットを使った教師との交流体験」を行いました。

初めて「遠隔会議システム」に触れる児童も多いなか、楽しみながら学習を進めた児童からは「離れている人の顔や声が聞けてドラえもんの道具みたい」「今度は家や他の学校とやってみたい」という意見とともに「これを全国に広めたらコロナが減ると思いました」という感想も寄せられました。

当日は「Empowered JAPAN 実行委員会」様の遠隔授業トライアルサポートの一環として借り受けている機器を利用し、授業を実施しました。今後、小中学校のICT環境もオンライン対応を見据えた整備が必要となっていきます。子どもたちの「学びの保障」のため、更なる充実に向けて、引き続き取り組みを進めていきます。



この件に関するお問合せ先

- お問合せ：教育部 学校教育課 ☎048・984・3564

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048・982・5112